

## ★主体的に生活する子どもを育む★

### ～幼稚園生活の中でたくさんの楽しい遊び経験と豊かな学びを！～

幼児期の教育は、『環境を通して行う教育』と言われます。子どもが生活を通して身近に見たり触れたり聞いたりするなど、あらゆる環境からの刺激を受け止め、自分から興味をもって主体的に関わりながら、様々な活動を楽しみ、充実感や満足感を味わうという直接的・具体的な体験を重ねていくことが重要視されています。『主体的に生活する力』とは、変化の激しい予測困難な時代を生き抜いていくために最も重要な力とも言えます。

#### ～主体的に生活する子どもの姿ってどんな姿？～

- ☆安心感をもっていろいろなことをやってみようとする
- ☆自分のやりたいと思ったことに、自分から取り組もうとする
- ☆友達と積極的にかかわり、進んで取り組もうとする
- ☆自分で考えて行動する
- ☆自尊心や自己肯定感が高く、いろいろなことに前向きに挑戦しようとする
- ☆試行錯誤したり考えたりを繰り返しながら、夢中になって遊ぶ
- ☆自分を信じる力（自信）をもっている

これらの力が育まれるように、その時々子ども達の「楽しい！」「やってみたい！」などの思いや興味関心に寄り添いながら、一方的に教えられるのではなく、自ら考えたり決めたりする過程（プロセス）の中で、子ども達が「何を」「どのように」学び身に付けていくのかを大切に、楽しいと思える経験（保育内容）を工夫していきたいと思えます。

## ★主体的に生活する子どもを育むために心がけたいこと★

子ども達の豊かな心と体を育むために、園と家庭とが連携し心がけたいことをあげてみました。

- 子どもが、自分で選んだり決めたりする経験を日常生活の中で取り入れる。
- 子どもの思っていることを「どうしたいの」「どうする？」などと聞いてやる。
- 「出来た！」「出来る！」と思えることを積み重ねる。
- 子どもが、やってみようとした時や出来たことを十分に褒め認める。
- 失敗したとしても、やろうとしたことや出来たところまでを具体的に認める。（次につなげる）
- 肯定的な言葉のシャワーをかけてあげる。
- 心に余裕をもって接する。

園と家庭とで一緒に子どもたちの主体性を高めていきましょう！

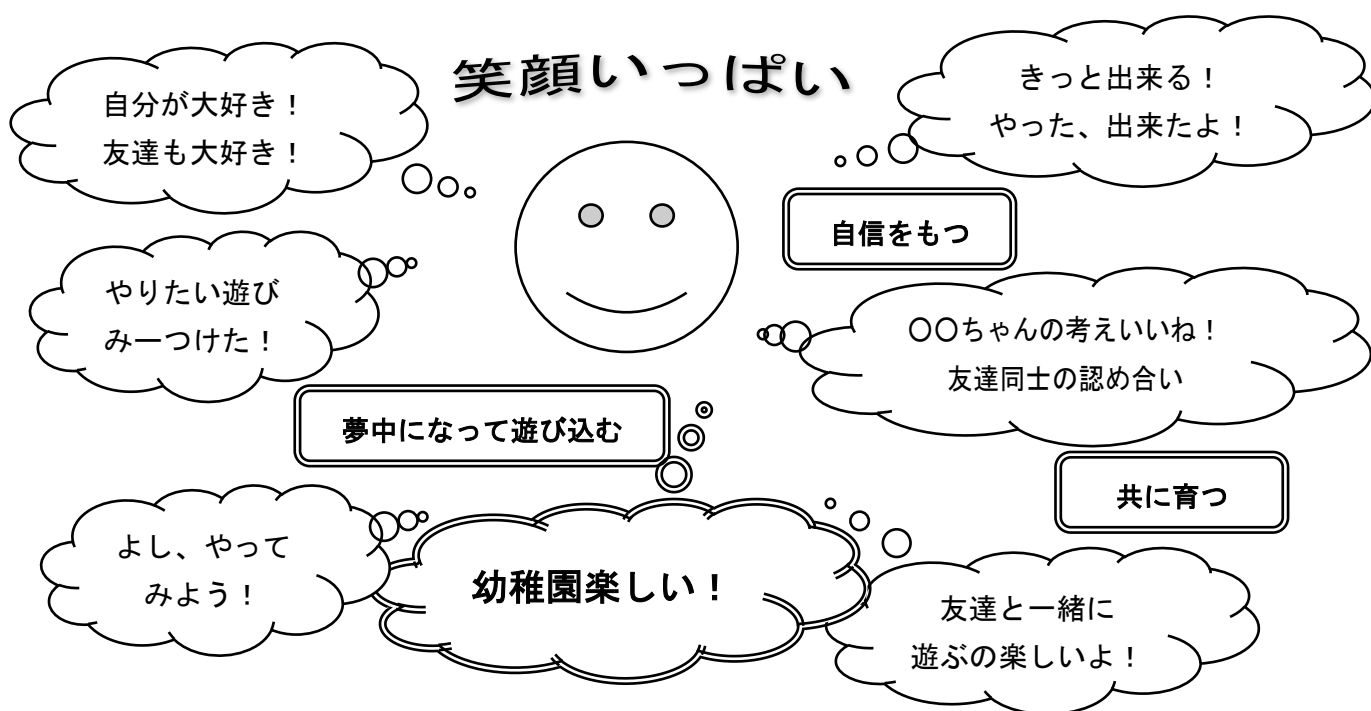
## 「広野幼稚園 教育目標」

### 「笑顔いっぱい 広野っ子」

- ・心身ともに健康で、明るく元気な子
- ・よく考え、工夫して遊ぶ子
- ・自分の思いをのびのびと表現する子
- ・やさしく、思いやりのある子

## 子どもも保護者も教師も、みんな「笑顔いっぱい」の広野幼稚園に!!

広野幼稚園では「笑顔いっぱい広野っ子」を教育目標に、4点の具体的な子どもの姿を目指して子どもも大人も、広野幼稚園にかかわるすべての方々の笑顔が輝く園づくりに取り組んでいきます。



## 感謝と希望の一年間に！

ご承知の通り、令和6年度三田市立認定こども園開園に伴い、広野幼稚園は今年度をもって閉園となります。昭和50年に三田市立広野幼稚園としてこの地に開園して以来、50年間の歴史の中には2,800人余りの園児が園生活を楽しみ、ご家族の中にはその一人であった方もおられることでしょう。その間、地域の皆様をはじめ多くの方々に園児の成長を温かく見守っていただきました。

今年度は、広野幼稚園として過ごす最後の1年として、一つ一つの活動や行事に「ありがとう」の感謝をしながら過ごしていきたいと思えます。

また、次の認定こども園開園にむけては、これから園名称を決定したり新しい園舎に生まれ変わったりなど、藍幼稚園、本庄幼稚園、広野幼稚園の子ども達みんなで、「嬉しいね」「楽しみだね」などの期待と希望の気持ちをもって過ごしていきたいと思えます。

3月1日（金）に閉園式を予定しています。どうぞよろしくお願ひします。